

まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報をお待ちしています。

▷お問い合わせ 広報情報係
(☎223局3569)



中国青銅器の製作技術を解明

2月5日 泉屋博古館・台湾中央研究院と共同研究

住友家の美術品を所蔵する泉屋博古館の廣川守さん、山本堯さん、台湾中央研究院歴史語言研究所の内田純子さんが、共同研究（鑄造実験）のため芦屋町を訪れ、波多野町長を表敬訪問しました。昨年12月、泉屋博古館、台湾中央研究院、芦屋釜の里の3者が、約3000年前の中国青銅器の製作技術解明を行うための研究協定を締結しました。芦屋釜の里のように、鑄物の製作と研究を合わせて行うことができる施設はアジアでもまれです。今回は、中国青銅器で最も古い器の一つ「爵」の復元に取り組みました。中国青銅器の国際的な研究は、将来的に芦屋釜のルーツの解明につながるかもしれません。



図書館の充実へ。本などが寄贈されました

1月21日 遠賀信用金庫×図書館贈呈式

遠賀信用金庫より創立70周年記念事業として、創業地である遠賀郡各町に図書などが寄贈され、1月21日に水巻町で4町合同の贈呈式が行われました。芦屋町図書館には、児童書や一般書、辞典、DVDなど約100点のほか、上映会、おはなし会などで使用する視聴覚・放送機材など、50万円相当を寄贈していただきました。図書館利用者にとって明日への活力になるよう活用しています。



赤鬼が来た!でも先生と一緒にだからこわくないもん

2月3日 愛生幼稚園豆まき×ポートルーサー

季節の分かれ目の邪気を払う行事、豆まきが町内の幼稚園や保育園で行われました。愛生幼稚園ではクラスごとにさまざまな形の鬼の面を作り、豆まきの準備をしました。金棒を持って現れた赤鬼や青鬼になった3人のポートルーサーへ、園児たちは「鬼は外!福は内!」と必死に豆を投げつけ、捕まらないように逃げていましたが、機敏な動きの鬼たちにはかきません。最後は大人の後ろに回り込んでしまいました。

町の防災対策の充実や商業振興に感謝

2月12日 芦屋町感謝状贈呈式

航空自衛隊芦屋基地の加藤康博基地司令に芦屋町から感謝状が贈呈されました。これは、町と芦屋基地との協力関係の強化を目指して、「津波及び洪水発生時における一時避難施設としての使用に関する覚書」を締結し、災害時の基地への避難者受け入れを実現したことや、各種イベントへの隊員の積極的な参加を募り、町の活性化や商業振興に寄与されたことに対して行われたものです。



命を守るウラワザ 男女で考える防災

2月9日 中央公民館講座×男女共同参画

防災士の江崎俊子さんを講師に迎えて「私とあなたの命を守るウラワザ」をテーマに講座が行われ37人が参加しました。ビニール袋で作るレインコートやキッチンペーパーで作るマスクなど、身近なものでお役立ちグッズ製作を体験。江崎さんは、「避難所の運営は地域住民で行うことが大切で、老若男女問わず自由に意見交換ができて、声の大きな人に流されない運営ができれば、命と暮らしを守ることができる」と教えてくれました。

ご当地グルメ！芦屋の味覚さわらが町にあふれる1カ月

2月8日～3月8日 芦屋町さわらフェア開催中

さわらサミット in 芦屋町をきっかけに始まった、さわらを満喫する芦屋町さわらフェア。今年は町内13店と町外の2店が参加して開催中です。西京焼きやしゃぶしゃぶ、竜田揚げなど幅広い調理法でさわら料理が提供されます。初日にさっそく料理を堪能していた皆さんは「さわらがとても甘く、とろんとした舌ざわりも楽しめました」など話してくれました。さわらに脂が乗っているこの期間に芦屋の冬の味覚を味わってみましょう。



4月からここで勉強だ！

2月12日 来年度新入生小学校見学

町内の小学校で来年度入学予定の児童が小学校の見学を行いました。体育館で歓迎してくれた小学1年生は、大きな声の返事や背筋がピンと伸びた姿勢など、小学校での1年間の成長による手本を見せていました。校内見学では、授業の行われている教室や演奏の練習をする音楽室などをまわり、そこで見たお兄さんお姉さんの姿に未来の自分を重ねながら目を輝かせていました。